



2020年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月14日

上場会社名 JESCOホールディングス株式会社
 コード番号 1434 URL <https://www.jesco.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 唐澤 光子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理室長 (氏名) 二戸 慎也

TEL 03-6382-7123

四半期報告書提出予定日 2020年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	6,691	7.3	212	242.2	243	302.8	231	407.9
2019年8月期第3四半期	7,217	31.0	62	16.5	60	18.7	45	

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 168百万円 (898.4%) 2019年8月期第3四半期 16百万円 (4.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	35.17	34.91
2019年8月期第3四半期	7.00	6.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	10,238	3,530	32.0
2019年8月期	9,004	3,433	34.7

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 3,278百万円 2019年8月期 3,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		0.00		11.00	11.00
2020年8月期		0.00			
2020年8月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	3.6	250		230		180		27.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期3Q	6,578,300 株	2019年8月期	6,575,600 株
期末自己株式数	2020年8月期3Q	4,845 株	2019年8月期	4,845 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期3Q	6,572,523 株	2019年8月期3Q	6,502,507 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年9月1日～2020年5月31日)においては、わが国経済は、消費税率の引き上げや相次ぐ自然災害の影響等があったものの、企業を取り巻く環境は緩やかな回復基調が続いておりました。しかしながら、米中貿易摩擦にともなう通商問題の長期化、新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大により、世界経済に甚大な影響を与えており、国内においても厳しい状況が続くと想定されております。

このような経済環境と見通しの中、当社グループは、国内市場においては、長年に渡り積み上げてきた技術力と顧客からの信用力を活かし、無線通信工事及び電気設備工事等の既存事業領域における受注拡大、再生可能エネルギーや5Gへの対応など国内事業領域の拡大、拠点整備による国内ネットワークの強化など事業の拡充を進めてまいりました。引き続きコスト削減に努め収益力の向上を図ってまいります。また、海外市場においては、ベトナムにおける建設投資需要を積極的に取り込みつつ、今後成長が期待される太陽光発電設備工事やアジア諸国での空港電気設備工事等のODA案件も含めた受注拡大を図ってまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、売上高66億91百万円(前年同四半期比7.3%減)、営業利益2億12百万円(前年同四半期比242.2%増)、経常利益2億43百万円(前年同四半期比302.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億31百万円(前年同四半期比407.9%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

a 国内EPC事業 ※

国内EPC事業において、JESCO株式会社では、新型コロナウイルス感染症の影響による工事中断により、公共システム関連工事及び電気設備関連工事を中心に、減収減益となりました。一方、JESCO SUGAYA株式会社では、ハッ場ダム施設の電気工事、電気通信工事及び高圧送電線工事等の受注増により大幅な増収増益となりました。この結果、当事業全体としては増収増益となりました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高50億71百万円(前年同四半期比1.4%増)、セグメント利益2億7百万円(前年同四半期比279.5%増)となりました。

b アセアンEPC事業 ※

アセアンEPC事業において、JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANYでは、設計積算部門で新規顧客の獲得等により受注量が拡大すると共に、新型コロナウイルス感染症対策のテレワークによる業務継続も順調に行き、収益向上に寄与しました。さらに、「二国間クレジット制度(JCM)」関連の電気設備工事の受注もあり、増収増益となりました。一方、JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANYにおいては、ホーチミン市の大型集合住宅の電気設備等の工事において、投資抑制による工期の遅延及び中断等の影響により減収減益となりました。この結果、当事業全体としては減収減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高15億10百万円(前年同四半期比28.8%減)、セグメント損失62百万円(前年同四半期はセグメント損失36百万円)となりました。

c 不動産事業

不動産事業においては、第2四半期連結会計期間に取得したJESCO目黒ビルの取得等により増収となりましたが、管理費用がかさみ減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高1億9百万円(前年同四半期比13.1%増)、セグメント利益64百万円(前年同四半期比22.1%減)となりました。

※ EPC = Engineering (設計)、Procurement (調達)、Construction (建設) の略

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、50億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円の減少となりました。これは、受取手形・完成工事未収入金等が10億26百万円減少し、現金及び預金が5億59百万円、未成工事支出金が1億59百万円増加したこと等によるものであります。当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、51億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億80百万円の増加となりました。これは、JESCO目黒ビルの取得等により、有形固定資産が15億21百万円増加したこと等によるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、102億38百万円となり、12億33百万円の増加となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、37億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億77百万円の増加となりました。これは短期借入金が7億89百万円、未成工事受入金が1億90百万円増加し、支払手形・工事未払金等が7億46百万円減少したこと等によるものであります。当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、29億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億59百万円の増加となりました。これは、長期借入金が9億31百万円増加したこと等によるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、67億8百万円となり、11億37百万円の増加となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、35億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ96百万円の増加となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の34.7%から当第3四半期連結会計期間末は32.0%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月期の通期連結業績予想につきましては、2019年10月15日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大による事業への影響は、当社グループの一部の業務において契約工期の変更等が発生しておりますが、件数・金額ともに業績に与える影響は軽微なものと予想しております。今後の動向を注視し、通期業績予想の修正が必要であると判断した場合には、すみやかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,639,831	2,199,570
受取手形・完成工事未収入金等	3,009,923	1,983,325
未成工事支出金	586,852	746,470
原材料及び貯蔵品	24,927	24,477
商品	—	4,596
その他	287,939	254,402
貸倒引当金	△156,648	△165,947
流動資産合計	5,392,826	5,046,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,705,119	2,007,951
減価償却累計額	△651,966	△696,477
建物及び構築物 (純額)	1,053,152	1,311,473
機械装置及び運搬具	96,511	94,780
減価償却累計額	△86,561	△86,202
機械装置及び運搬具 (純額)	9,949	8,578
土地	2,199,981	3,448,150
リース資産	191,176	211,508
減価償却累計額	△185,222	△190,365
リース資産 (純額)	5,953	21,142
建設仮勘定	1,566	2,694
その他	238,252	242,974
減価償却累計額	△219,106	△223,355
その他 (純額)	19,145	19,618
有形固定資産合計	3,289,749	4,811,657
無形固定資産		
のれん	10,377	8,628
その他	21,120	19,162
無形固定資産合計	31,498	27,791
投資その他の資産		
投資有価証券	132,479	208,308
繰延税金資産	52,536	82,258
その他	128,510	85,294
貸倒引当金	△31,691	△31,691
投資その他の資産合計	281,834	344,170
固定資産合計	3,603,082	5,183,620
繰延資産		
社債発行費	9,081	8,272
繰延資産合計	9,081	8,272
資産合計	9,004,989	10,238,787

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,019,337	1,272,777
短期借入金	81,415	870,443
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	20,441	63,291
リース債務	6,066	5,688
賞与引当金	57,586	90,746
工事損失引当金	37,759	11,181
未払法人税等	18,429	36,268
未成工事受入金	991,182	1,181,805
その他	316,592	194,289
流動負債合計	3,598,812	3,776,492
固定負債		
社債	375,000	350,000
長期借入金	823,525	1,755,014
リース債務	3,364	19,613
繰延税金負債	114,173	147,959
退職給付に係る負債	185,647	197,264
長期末払金	329,491	329,491
資産除去債務	16,382	15,321
その他	124,717	117,439
固定負債合計	1,972,301	2,932,103
負債合計	5,571,114	6,708,595
純資産の部		
株主資本		
資本金	971,191	971,488
資本剰余金	890,715	891,012
利益剰余金	1,335,649	1,494,537
自己株式	△25	△25
株主資本合計	3,197,530	3,357,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,120	△7,232
為替換算調整勘定	△63,955	△70,896
その他の包括利益累計額合計	△76,076	△78,129
非支配株主持分	312,421	251,308
純資産合計	3,433,875	3,530,191
負債純資産合計	9,004,989	10,238,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	7,217,397	6,691,528
売上原価	6,480,233	5,863,990
売上総利益	737,163	827,538
販売費及び一般管理費	674,930	614,585
営業利益	62,233	212,952
営業外収益		
受取利息	5,868	12,775
受取配当金	160	11
為替差益	4,313	16,853
作業屑売却益	3,834	2,984
受取精算金	4,856	—
その他	7,466	23,979
営業外収益合計	26,500	56,603
営業外費用		
支払利息	20,044	21,144
その他	8,292	5,118
営業外費用合計	28,336	26,262
経常利益	60,397	243,293
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,432
受取保険金	—	11,221
特別利益合計	—	15,654
特別損失		
固定資産除却損	9,034	4,982
災害による損失	—	8,166
たな卸資産処分損	—	17,173
特別損失合計	9,034	30,321
税金等調整前四半期純利益	51,363	228,626
法人税等	19,101	55,845
四半期純利益	32,261	172,780
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,255	△58,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,516	231,166

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
四半期純利益	32,261	172,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,186	4,887
為替換算調整勘定	△3,248	△9,667
その他の包括利益合計	△15,435	△4,779
四半期包括利益	16,826	168,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,216	229,113
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,390	△61,113

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,000,232	2,120,203	96,960	7,217,397	-	7,217,397	-	7,217,397
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20,321	49,575	37,989	107,885	355,950	463,835	△463,835	-
計	5,020,553	2,169,779	134,949	7,325,282	355,950	7,681,232	△463,835	7,217,397
セグメント利益 又は損失(△)	54,786	△36,213	83,052	101,624	△40,250	61,374	859	62,233

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去463,835千円及び営業損益と営業外損益間の消去859千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	不動産事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,071,283	1,510,595	109,648	6,691,528	-	6,691,528	-	6,691,528
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	28,730	75,183	27,270	131,184	327,450	458,634	△458,634	-
計	5,100,014	1,585,779	136,918	6,822,712	327,450	7,150,162	△458,634	6,691,528
セグメント利益 又は損失(△)	207,928	△62,098	64,734	210,564	680	211,244	1,707	212,952

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去458,634千円及び営業損益と営業外損益間の消去1,707千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。